

2015年
8月

No.202

さざなみ

〒520-2141
大津市大江6丁目23-24

さざなみネット
(金融労連・全国金融産業労働組合滋賀分会)
TEL・FAX 077-545-5154

第61回日本母親大会

戦争法案絶対反対！愛する人を戦場に送らない行動の先頭に

8月1日・2日、猛暑の中、神戸国際展示場で第61回「日本母親大会」が開催されました。1日目の全体会には全国から6300人が参加。第1会場では金杉美和弁護士が「戦後・女性参政権70年ー憲法・平和・ジェンダー平等の実現を！」について、第2会場では石川康宏教授が「戦後・被爆70年 日本国憲法とともにあゆみつづけるー子どもの未来・くらし・平和」と題してそれぞれ記念講演をしました。

金杉美和弁護士は自民党の憲法改定草案は「国のために国民を縛るもの」「集団的自衛権は戦争の口実になってきた」など詳しく説明。「いま女性の実感で戦争はいやだという声をあげよう」と訴えました。

運動の交流では、全国で繰り広げられている「戦争法案廃案」「安倍政治を許さない」たたかいが報告され、「いま、母親大会の生命のスローガンを高くかけ、『戦争法案絶対反対！愛する人を戦場に送らない』行動の先頭に立ちましょう」との大会アピールを採択しました。

2日目は3会場に分かれて、こどもと教育、くらしと権利など幅広いテーマで分科会、シンポジウムなどが開かれ、閉会しました。

2日間で、のべ1万1100人が、さざなみネットからは3人が参加しました。



感想

「神戸ってちょっとおしゃれな街」というイメージ以外は知らない。JR三宮駅からポートライナーに乗り換え、5つ目の駅「市民広場」で下車。口をついて出るのは「暑いなあー」、ところが会場の国際展示場2号館は、全館冷房でとても涼しかった。全体会は、12時45分開会、朝鮮舞踊で始まり、石川康宏さんの講演、文化行事の兵庫のうた声合唱団の後、1時間の休憩に、1号館で行われている楽しみの物産展に足を運んだ。再開後は全国各地でのたたかいの交流、実に多くの問題で運動が起きているか、生きにくい世の中を実感した。

全員のエール交換のあと、来年の第62回大会は石川県金沢市で開かれる。「よし！来年も」の思いと元気を貰い会場を後にした。(植)

旅行記

7月23日より3日間、白馬方面へ出かけた。40年ほど前に登った所は、「白馬八方尾根自然研究路」という名前になっている。八方池までは道が整備され、ツアー客は誰でも登れるようになっていたのには驚いた。

何十年ぶりに見る白馬岳の雄大な景色。ピークは雲がかかり見えなかったけれど感動した。また可憐でつましやかに高山植物がいっぱい、いっぱい咲いていて、もっともって感動した。その時出会った花を色紙に描きました。

来年も体力をつけて、必ずもう一度訪れたい。幸せな気分(岩波)



白馬八方尾根自然研究路



白馬山麓の花々 岩波 美智子さん 画

国会10万人・全国100万人大行動 戦後史に刻まれる空前の規模に 戦争するな! 9条守れ! 列島を揺るがす この声を聞け

違憲立法・戦争法案の廃案と安倍政権の退陣を迫る「国会10万人・全国100万人大行動」が30日におこなわれました。北海道から沖縄まで列島津々浦々に戦争法案と安倍政権への怒りのコールがとどろきました。

国会議事堂の正門前は、身動きできないほどの人波で埋まり、雨天を吹き飛ばす勢いの熱気で満ちあふれました。国会周辺で12万人が参加、全国1000カ所以上で繰り広げられ、戦後史



国会を取り囲み、戦争法案廃案、安倍首相退陣を求めてコールする人たち

に刻まれる、文字通り空前の規模となりました。滋賀県内でもこれに呼応して30カ所・2200人以上が集会、パレード、リレートーク、宣伝・署名、反対アピール採択などが終日取り組まれました。

さざなみネットからは多くの組合員が参加しました。浜大津では、交差点や路線電車や行き交う車にアピールしました。湖北集会では、160人が集会、児童文学者今関信子さん・平尾道雄米原市長・真宗大谷派9条の会代表がリレートークし、その後パレードをし、「戦争させない」「9条壊すな」などと、市民に訴えました。



全国行動に呼応しシュプレヒコール、湖北集会

核兵器なくそう女性のつどい2015 in ヒロシマ

女性の連帯が世界を変える

「核兵器をなくそう女性のつどい2015」が、8月5日広島県立総合体育館で開かれ、1300人が参加し会場は熱気一杯になりました。招待された3人を含む海外の女性たちと熱く交流しました。さざなみネットから1人が参加しました。

女性のつどいは、核兵器廃絶をめざす女性国際集会として、22年間毎年開かれ、NPT再検討会議での核兵器禁止条約を求める変化と流れをつくりだす一翼を担ってきました。

感想

広島は夏はとても暑い。被爆から70年の今年、新婦人は「女性のつどい」に2000人の参加を目標に!

滋賀県からは20人の参加で・・・と。

「参加人数が20人になったら私はいかへん」と言っていたのですが、達しなかったので参加することになりました。

会場には受付時間の少し前に着きましたが、若い人や子どもさんのにぎやかな声がもう響いています。

4月にNPT再検討会議にニューヨークに行かれた人たちが、今回広島にたくさんやってきました。

各地の取り組みが元気はつらつと報告され、外国からの女性団体もとても多く、「核兵器なくそう」の運動は確実に広がっていることを実感しました。

若いお母さんが小さな子供を連れて参加、会場を自由に動き回る子どもたち、和やかな雰囲気の中、この若いお母さんたちの発想「だれの子どもも殺させない」に学び、気軽に「行動する」を身近なところから始められれば・・・始めなければ・・・と強く思った。(植木)



3人の女性平和活動家が招待。アメリカからマデリン・ホフマンさんとメアリー・ポペオさん、北マリアナ諸島・テニアン島から フローリン・ホフシュナイダーさん。ともに壇上で合唱。

